

令和5年 5月17日

川崎市議会議長 様

麻生区在住者

ほか 1名

公費で購読している政党機関紙を削減し見直すことに関する陳情

陳情の要旨

公費で購読している政党機関紙の購読を見直し、他の政令指定都市と同程度の部数に削減してください。

陳情の理由

今回、情報公開で得た情報から、あまりにも多くの政党機関紙を購読しているのに驚きました。

しんぶん赤旗 本庁舎関連 日刊30部  
上下水道局 日刊1部 日曜版1部  
交通局 日刊1部 日曜版1部  
計、日刊紙32部、日曜版2部、年間136万5,168円

公明新聞 本庁舎関連 日刊30部  
上下水道局 日刊1部  
交通局 日刊1部  
計32部、年間72万4,608円

自由民主 本庁舎関連 30部  
上下水道局 1部  
交通局 4部  
計35部、年間購読料で計算すると、年間18万2,000円

年間227万1,776円もの税金を投入して、10年間で2,271万円にもなります。

お隣の政令指定都市、相模原市は、公費で政党機関紙を全く購読していませんでした。横浜市は、赤旗7部、自由民主9部、公明新聞5部、総額45万3,768円です。

本市だけが、なぜこんなに必要なのでしょうか。私たちの税金をもっと有益に活用してほしいので、令和5年度では見直してください。